

2025 年 12 月 6 日（土）洗足学園 前田ホール

＊ ＊ ＊ 第 21 回 音楽教育コース ＊ ＊ ＊

# 定期演奏会

16：00 開演 （15：30 開場）

Connecting to the Next 100 Years



本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

## 《目次》

Program (演目)

Program Note (曲目解説)

Student Introduction (学生紹介)

Faculty Profile (指導教員プロフィール)

Performer (演奏者紹介)

Staff (スタッフ紹介)

アンケートのお願い

## 《注意事項》

- ◆ 演奏中の入退場はご遠慮ください。
- ◆ 携帯電話・スマートフォンはマナーモードに設定をお願いいたします。
- ◆ プログラム閲覧以外のスマートフォンの使用、写真・動画の撮影、録音はご遠慮ください。
- ◆ 出演者への差し入れ等は受付でお預かり、または面会時間に手渡しをお願いいたします。



# ご挨拶

本日は、洗足学園音楽大学主催演奏会「第 21 回音楽教育コース定期演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

本演奏会は、音楽教育コースの学生が日々学んでおります、さまざまな授業の成果発表であり、また、学生たちが主体となって演奏会をつくりあげていく、制作とマネジメントの実践の場でもあります。

演奏会の第 1 部は、日本の代表的伝統芸能である能より、《羽衣》等を上演いたします。続いて第 2 部は、本コースならではの楽器編成による器楽合奏をお届けします。合奏する演目はすべてオリジナルの作品と編曲によるものです。そして第 3 部は、本演奏会のメイン・プログラムであり、本コース卒業生の賛助出演を加えた合唱をお届けします。

本日の演奏会では開催にあたりまして、賛助出演の皆様、ならびに関係各位の多大なるご尽力を賜り、この場を借りまして厚く御礼を申し上げます。

それでは、どうぞ最後まで演奏会をお楽しみください。

洗足学園音楽大学・大学院教授

音楽教育コース アカデミックプロデューサー

佐藤 昌弘

本日は「第 21 回音楽教育コース定期演奏会」にご来場いただき、心より御礼申し上げます。

洗足学園音楽大学の長い歴史と、先輩方が紡いできてくださった伝統を重んじつつ、私たちはこの一年、より高い表現を目指して練習を重ねてまいりました。

日頃よりご指導くださる先生方やご支援くださる大学関係者の皆様、支えてくださるすべての方々に厚く感謝申し上げますとともに、ここにおります私たちの演奏が、皆様の心に深い響きを残すことができますよう、願いを込めて演奏いたします。どうぞ最後までお楽しみください。

洗足学園音楽大学 音楽教育コース 学生一同

# Program

## 【ウェルカムコンサート／リコーダーアンサンブル】

《あら野のはてに》

讃美歌 編曲：金子 健治

《君をのせて「天空の城ラピュタ」より》

作曲：久石 譲 編曲：金子 健治

《茶色の小瓶》

作曲：ジョセフ・イーストバーン・ウィナー 編曲：金子 健治

《戦場のメリークリスマス》

作曲：坂本 龍一 編曲：三町 眞央（音楽・音響デザインコース）

《ピタゴラスイッチ》

作曲：栗原 正己 編曲：島津 秀雄

## 第 1 部

### 【能】

仕舞《敦盛クセ》 作者：世阿弥

《放下僧 小歌》 作者：不詳

《小鍛冶キリ》 作者：不詳

能《羽衣》 作者：不詳

— 休憩 —

## 【ロビーコンサート／2年生によるアンサンブル】

《Builders of tomorrow》

作曲：ジェフリー・ラッセル・スミス

《4つのアメリカのダンスから（バーンダンス）》

作曲：ジョン・W・デュアルテ

《ぜんぶ》

作詞：さくら ももこ 作曲：相澤 直人

《今日から明日へ》

作詞・作曲：仲里 幸広 編曲：富澤 裕

## 第2部

### 【鍵盤ハーモニカ・アンサンブル】

《世界の4つの歌》

編曲：佐藤 昌弘

### 【器楽アンサンブル】

《アナと雪の女王メドレー》

作曲：ロバート・ロペス

クリステン・アンダーソン＝ロペス

編曲：秋谷 舞雪

《シング・シング・シング》

作曲：ルイ・プリマ

編曲：秋谷 舞雪

《主題と変奏》（新作初演）

作曲：佐藤 昌弘

## 第 3 部

### 【合唱】

《おんがく》

作詞：まど・みちお 作曲：木下 牧子

指揮：島岡 栞

《夜明けから日暮れまで》

作詞：和合 亮一 作曲：信長 貴富

指揮：横川 莉々花 伴奏：橋本 真和

《君とみた海》

作詞・作曲：若松 勲

指揮：谷元 友莉亜 伴奏：秋谷 舞雪

《正解》

作詞・作曲：野田 洋次郎

合唱編曲：田中雪子・泉 宏樹

ピアノ編曲・譜面作成：泉 宏樹

指揮：中村 心咲 伴奏：日比 咲千帆

《青い鳥》

作詞：安岡 優 作曲：北山 陽一 編曲：横山 潤子

指揮：田村 莉子 伴奏：永田 陽

# Program Note

## 【能】

---

### 仕舞 《敦盛クセ》 作者：世阿弥

時は源平の争乱から間もない頃のことである。源氏方の武将熊谷直実は、一ノ谷合戦で、まだ十六であった平敦盛を討った悔恨から、出家し蓮正と名乗っていた。ある日、敦盛の菩提を弔うため一ノ谷を訪れた直実は、この世の無常に思いを巡らすのであった。そこに敦盛の霊が現れ、平家の栄枯盛衰を物語り、一ノ谷の合戦で直実に打たれる有様を再現する。このクセという章段では、栄華を誇った平家が散り散りに都を追われ、鄙びた須磨に落ち行き、過去を偲ぶ姿を基本的な型で表現してゆく。(田村 莉子)

---

### 《放下僧 小歌》 作者：不詳

中世、所領争いで父を殺された小次郎と兄は、仇である利根信俊に、放下僧（歌舞や曲芸などをする芸能者）に身をやつして近づく。兄は敵の前で禅問答を交わし、巷に流行する小歌を謡い舞いながら油断を誘う。やがて利根が安心して眠り込んだ瞬間、兄弟はついに仇討ちを成し遂げることになる。

曲舞、羯鼓に続くこの小歌。華やかな情景を軽やかに歌い舞う裏で、兄弟の覚悟やその瞬間を見計らい緊張が入り交じるところが見どころである。(ミュージカルコース 豊田 彩友)

---

### 《小鍛冶キリ》 作者：不詳

天皇の命で勅使が訪れ、剣を打つよう命じるが、三條小鍛冶宗近は相鎚がないとできないと困る。稲荷明神に祈ると、少年が現れ、相鎚を勤めると約束する。鍛冶壇に立つ宗近のもとに稲荷明神が現れ、無事刀を完成させると、稲荷明神は雲に乗って稲荷の峯へ帰っていった。仕舞では稲荷明神が飛ぶように舞う姿に注目してほしい。(持丸 なぎ)

---

### 能 《羽衣》 作者：不詳

ある日、漁師の白龍が海辺の松にかかると一枚の羽衣を見つける。それを持ち帰ろうとした時、天女が現れ、それは天に帰るために必要な羽衣であると訴える。白龍は最初、珍しい宝として、羽衣を手放そうとしなかったが、天女の切なる願いと、天上の舞を見せるという約束に心を動かされ、ついに羽衣を返す。天女は感謝をこめて、月や空の世界を思わせる幽玄な舞を披露し、やがて彼方の富士山へ舞い上がり、霞にまぎれて消えていった。

《羽衣》は、人と天女の一瞬の出会いが、夢のように描かれている。そこには、自然と神秘、そして人間の情の交差が美しく浮かび上がる演目である。天女が羽衣をまとい、「月宮の舞」や「東遊」などの神聖な舞を披露し、天女は次第に高く、軽やかに天に上がっていく。

囃子のテンポが速まる中、清らかで洗練された舞と、日本の象徴である富士山と松原の景色を背景に、極限まで純粋化された「美」をお楽しみいただきたい。(石川 晶水)

## 【鍵盤ハーモニカ・アンサンブル】

---

### 《世界の4つの歌》 編曲：佐藤 昌弘

《世界の4つの歌》は、代表的な教育楽器の1つ、鍵盤ハーモニカだけで編成されたアンサンブルのために編曲したもので、世界の名歌によるメドレーです。

1曲目は、アイルランド民謡の《ロンドンデリーの歌》で、この曲は「ダニー・ボーイ」という別タイトルで英語の歌詞が付けられていることでも知られています。2曲目は、アメリカの作曲家、ハロルド・アーレン（1905-1986）が作曲した《オーバー・ザ・レインボー》です。1939年のミュージカル映画「オズの魔法使い」の主題歌でお馴染みですね。3曲目はフランスのシャンソン《失われた恋》。「枯葉」の作曲者として有名なジョセフ・コスマ（1905-1969）が1950年に作曲しました。4曲目は、日本人であれば誰もが知っているであろう《早春賦》です。1913年に中田章（1886-1931）が文部省唱歌として作曲しました。

以上4曲の選曲にあたっては、武満 徹（1930-1996）が編曲した《ギターのための12の歌》を参考にしたことを付記しておきます。(佐藤 昌弘)

## 【器楽アンサンブル】

---

### 《アナと雪の女王メドレー》 作曲：ロバート・ロペス/クリステン・アンダーソン＝ロペス

編曲：秋谷 舞雪

2013年に公開されたディズニー映画「アナと雪の女王」は、雪と氷を操る不思議な力を持つ姉・エルサと、その妹・アナの温かい家族愛を描いた物語です。今回はその中から《レット・イット・ゴー 〜ありのままで〜》を含む劇中歌3曲を、音楽教育コースのオリジナル編成用に編曲しました。器楽アンサンブルの優しい音色を、ディズニー映画の音楽ならではの美しいメロディやハーモニーと共にお楽しみください。(秋谷 舞雪)

### 《シング・シング・シング》 作曲：ルイ・プリマ 編曲：秋谷 舞雪

1936年に、アメリカのトランペット奏者・ジャズ歌手のルイ・プリマ（1910-1978）によって発表されたジャズの名曲です。クラリネット奏者としても活躍したベニー・グッドマン（1909-1986）によるアレンジメントと彼の楽団による演奏が広く知られており、現在も多くの人々に愛されています。次々に展開していく音楽進行や、フルート、トロンボーン、ベースによるオリジナルのソロパート（佐藤 昌弘作成）に注目してお聴きください。(秋谷 舞雪)



## 《主題と変奏》（新作初演） 作曲：佐藤 昌弘

《主題と変奏》は、音楽教育コースの授業「教育アンサンブル」のために書き下ろした新作で、本演奏会が初演となります。編成は、授業の履修者が持ち寄ったさまざまな楽器によっています。

曲は、d moll の主題と 6 つの変奏からなり、第 3 変奏以降はピアソラ風、ラヴェル風、ジャズ風、ラフマニノフ風といった、多様なスタイルをとっています。（佐藤 昌弘）

## 【合唱】

---

### 《おんがく》 作詞：まど・みちお 作曲：木下 牧子

《おんがく》は、作詞のまど・みちおが“おんがく”そのものへの愛を込めて紡いだ言葉と、作曲の木下牧子の織りなす豊かな和声重なった合唱曲です。この曲からは“おんがく”への強い憧れや欲求がまっすぐに伝わってきます。私たちは、そんなエネルギーに満ちた歌詞を大切にしながらも、音がそっと生まれてそっと消えていくよう柔らかに歌います。（島岡 栞）

---

### 《夜明けから日暮れまで》 作詞：和合 亮一 作曲：信長 貴富

東日本大震災をきっかけに福島の声楽アンサンブルコンテストで歌われるこの曲は、「みんなの想い」を繋ぐため、絶望や希望など様々な気持ちを込めて作られています。題名にある“夜明けから日暮れまで”は、一日の光の移ろいを象徴する言葉であり、その意味を思い描きながら聴いてほしいです。重なり合う四声は後半に向けて少しずつ力強さを増し、前へ進もうとする心の動きを表します。

皆さまに光と心の揺らぎ、そして“夜明け”の瞬間を感じていただけますように。（横川 莉々花・橋本 真和）

---

### 《君とみた海》 作詞・作曲：若松 歓

合唱コンクールの定番曲である《君とみた海》は、ドラマティックなピアノ伴奏と美しいハーモニーが特徴的な混声三部の合唱曲です。この曲を聴くと、故郷の海を眺めながら大切な人との思い出を懐かしむ情景が想像できるのではないのでしょうか。「そばに居る人が悩み苦しむ時、自分は何が出来るだろうかを感じ取って欲しい」と、作曲者の若松 歓さんの深い思いが込められた 1 曲です。（谷元 友莉亜・秋谷 舞雪）

---

### 《正解》 作詞・作曲：野田 洋次郎 合唱編曲：田中 雪子・泉宏樹 ピアノ編曲・譜面作成：泉 宏樹

NHK が主催し、毎年アーティストを招く音楽ライブ「18 祭」で RADWIMPS の野田 洋次郎氏が作詞・作曲した楽曲です。メロディの受け渡しが印象的で、歌詞の最後に「制限時間はあなたのこれからの人生、解答用紙はあなたのこれからの人生」とあります。この歌詞は、誰かが正解を決めるのではなく、歩

む人生そのものが“答え”になっていくという力強いメッセージを感じました。人生の希望も迷いもすべての想いを胸に、皆様へお届けいたします。(中村 心咲・日比 咲千帆)

---

《青い鳥》 作詞：安岡 優 作曲：北山 陽一 編曲：横山 潤子

幸せの象徴である「青い鳥」をめぐる繊細な心の動きを、柔らかな旋律と移りゆく和声の色合いによって描き出した合唱曲です。静かな音の広がりから一度明るさを増し、再び穏やかな響きへ戻る流れは、希望を探し求める心そのもののよう感じられます。詩と音楽が寄り添いながら、手の届きそうで届かない幸福の気配をそっと照らす、透明感のある一曲をどうぞお楽しみください。(田村 莉子・永田 陽)

《おんがく》

神様だったら　みえるのかしら  
耳を塞いで　おんがくを眺めていたい  
目もつぶって　はなのかおりへのように  
おんがくに　かおよせていたい  
口にふくんで　まっていたい  
シャーベットのよう　ひろがってくるのを  
そしてほほずりしたい　その胸に抱かれて  
神様だったら　みえるのかしら  
耳を塞いで　おんがくを眺めていたい

《夜明けから日暮れまで》

風がはるかかなたから 吹いてきていま

私たちのあいだを 通り抜けていくという不思議

やまやまがならび くもにさそわれて

あなたは風になって ぐるり旅をしてまわり

またここへ戻る あなたという場所へ

そして風になったまま 戻って来ない人々をおもう

わたし わたしは誰

わたしは日付変更線の先の 明日です 夜明けです

命が遙か彼方から わいてきていま

私たちのあいだを 通り抜けているという不思議

野道が続き 風の先は夕日

わたしは雲になって ぐるり旅をしてまわり

またここへ戻る 丘という場所へ

そして鳥になったまま 戻って来ない人々をおもう

あなた あなたは誰

あなたは季節知って 燃え続ける野火です 夜明けです

道を行け 野をゆけ 風に追われ 雲を追って

野火を 野火を求めよ その先に夜明けがある

海を行け 風をゆけ 雲に追われ 空をおって

船よ 銀河を背負い 海原に 帆をかかげよ

わたし わたしは誰

わたしは 日付変更線の先の 明日です 夜明けです

《君とみた海》

風に体つつまれて 眩しい 水平線を眺めてる君  
君の乾いた素肌に 涙こぼれている  
重ね過ぎた悲しみ 少しずつ砂にじませてくように

海よ 海よ 海よ

素直な気持ち気づかせてくれる

君とみた夏の日の思い出は いつまでも輝いてる

広い故郷の海で 波に心あずけながら

静かな優しい歌を口ずさむ君

人は微笑む数だけ 悩み苦しむけど

忘れかけた何かを ここでならきつと見つけられるはずさ

海よ 海よ 海よ

限らない夢 いだかせてくれる

果てのない青空に続くように どこまでも広がってゆく

海よ 海よ 海よ

大切なもの気づかせてくれる

君とみた夏の日の思い出は いつまでも輝いてる

《正 解》

この先に会おうどんな友とも分かち合えない秘密を共にした  
それなのにたったひと言の

「ごめんね」だけやけに遠くて言えなかったり

明日も会うのになぜか僕らは

眠い眼こすり 夜通しバカ話

明くる日案の定 机並べて

居眠りして怒られてるのに笑えてきて

理屈に合わないことをどれだけやれるかが青春だとしても

どこかで僕ら思っていたのかな

ああ 答えがある問いばかりを教わってきたよ

そのせいだろうか

僕たちが知リたかったのはいつも正解などまだ銀河にもない

一番大切な君と 仲直りの仕方

大好きなあの子の心の振り向かせ方

なに一つ見えない 僕らの未来だから

答えがすでにある 問いなんかに 用などはない

これまで出逢ったどんな友とも違う君に見つけてもらった  
自分をはじめて好きになれたの分かるはずない

君に分かるはずもないでしょう

並んで歩けどどこかで追い続けていた 君の背中

明日からは もうそこにはない (もうそこにはない)

ああ 答えがある問いばかりを教わってきたよそのせいだろうか

僕たちが知リたかったのはいつも正解など大人も知らない

喜びが溢れて止まらない 夜の眠り方

悔しさで滲んだ 心の傷の治し方

傷ついた友の励まし方

あなたとはじめて怒鳴り合った日

あとで聞いたよ 君は笑っていたと想いの伝え方がわからない

僕の心 君は無理矢理こじ開けたの

ああ 答えがある問いばかりを教わってきたよだけど明日からは僕だけ

の正解をいざ探しにゆくんだ

また逢う日まで

次の空欄に当てはまる言葉を書き入れなさい ここでの最後の問い

「君のいない 明日からの日々を僕は（私は）きつときつと」

制限時間はあなたのこれからの人生

解答用紙は あなたのこれからの人生

答え合わせの時に私はもういない

だから採点基準は あなたのこれからの人生

「よいはじめ」

《青い鳥》

目と目が合うと上手に言えない 足りない言葉が胸を叩くよ

一秒ごとに横顔見上げて 瞳の奥でまた名前を呼んでる

通り過ぎる季節の中 僕達が語り合えるなら

何気ない時の欠片さえ かけがえない未来さ

それは青い鳥 こんなに近く微笑むから

いつか世界中の空 旅をして大人になるもう一度

めぐり逢えるまで

人は求めすぎて何を失うだろう？

移り気な雲を追いかける風も重ね合い許し合い この地球を回せば

きつと青い鳥

誰もがすぐに見つけるのさ

今も世界のどこかで生まれゆく朝日の色

心に翼を広げて

それは青い鳥 君が信じてくれるのなら

いつか世界中の空 旅をして大人になるもう一度

めぐり逢えるまで

必ずあの日見た夢と めぐり逢えるから



# Student Introduction

## 1 年生



藤田 朱莉      島岡 栞      腰岡 日和      大島 あかり      奥野 ひかり

佐久間 天海      浅沼 俊哉      山崎 遥陽      矢澤 奏汰

## 2 年生



三浦 ひかり      石川 晶水      中村 一音      池田 知輝      小西 凜音  
田邊 碧      田村 莉子

中村 心咲      春日 心花      小澤 美柚      三好 咲彩      日比 咲千帆      細島 奏帆      菊池 望叶

### 3 年生



横川 莉々花

成沢 彩

福永 美穂

濱田 素実

服部 友希那

庄田 晴

森 愛華

眞栄城 はるみ

岡本 茉音

永田 陽

### 4 年生



ZHU XIAOQI

秋谷 舞雪

SUN YUCHEN

後藤 雪乃

水上 唯

桑名 結生

中村 珠利杏

橋本 真和

持丸 なぎ

高橋 瑛莉香

谷元 友莉亜

竹下 実穂

松本 心晴

# Faculty Profile

## 鵜澤 光 （能指導）

1979 年生まれ。シテ方観世流能楽師。重要無形文化財総合指定保持者。1982 年に仕舞「老松」で初舞台。2002 年東京藝術大学邦楽科能楽専攻卒業。幼少より祖父 故鵜澤雅、母 鵜澤久に師事。大学卒業後銚仙会に入門し、九世観世銚之丞に師事。2007 年準職分認定。銚仙会を中心に演能活動し、海外公演のほか一般、学校でのワークショップなども積極的に手掛けている。洗足学園音楽大学、立教大学非常勤講師。



## 佐藤 昌弘（音楽教育コース AP・器楽アンサンブル指導・指揮）

作曲家。東京藝術大学音楽学部作曲科を首席で卒業後、同大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程を修了。1990 年第 12 回日本交響楽振興財団作曲賞入選。1991 年第 1 回芥川作曲賞ファイナリスト。1992 年 NHK 第 61 回日本音楽コンクール作曲部門第 3 位入賞。1998 年第 20 回日本交響楽振興財団作曲賞入選。管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲、邦楽曲等、作品多数。現在、洗足学園音楽大学・大学院教授、日本現代音楽協会理事、川崎市芸術文化振興会議委員。



## 田中 良一（合唱指導）

洗足学園音楽大学音楽学部声楽コースを優秀賞を得て卒業、同専攻科修了、同大学付属オペラ研究所修了。声楽を島田恒輔、福島明也、岡崎實俊各氏に師事。合唱指導法、指揮法を川名佑一氏に師事。日生劇場のオーディションに合格してオペラデビューし、その後多くのオペラに出演。宗教曲の分野でも活動し、ミサ曲や《メサイヤ》《第九》を始め、コンサート活動にも積極的に取り組み、医療施設や社会福祉施設での演奏も行う。また、小、中、高校と多くの学校で歌唱、合唱指導を行い、合唱指導者としても活動している。洗足学園音楽大学講師。



## 高橋 明日香（リコーダー指導）

上野学園中学校在学中よりリコーダーを専門に学び、上野学園大学リコーダー専門卒業、東京藝術大学大学院古楽科修士課程修了。大学を学部首席で卒業し、皇居内桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。これまでに、ヨーロッパ各地でソロ公演を行う。またミャンマーにて外交樹立 60 周年記念行事の一環として、ヤンゴンの芸術大学でリコーダー普及活動を行う。国内においてもソロ、アンサンブルで全国的に演奏活動を展開し、CD 録音にも参加。2017 年より洗足学園音楽大学で後進の指導にあたる。東京リコーダー協会講師として、関東、北陸、東北の小学校にて講習活動を行っており、訪問校数はのべ 1200 校以上。





## 金井 公美子（音楽教育コース副 AP）

洗足学園音楽大学音楽学部声楽科卒業。横浜国立大学大学院教育学部音楽教育専攻修了。教育内容及び方法と教材開発の研究を中心に活動。大学を拠点とし、地域と学校との連携を図る活動を重視。大学生と共に近隣小学校で行う篠笛の出張授業を発展させ、地域の例大祭で小・大・地域住民協働によるお囃子演奏を披露する等、音楽を通して地域・社会貢献を積極的に行う。洗足学園音楽大学・大学院教授。日本音楽教育学会、日本学校音楽教育実践学会、等所属。



## 谷川 マユコ（音楽教育コース AA）

絵本・紙芝居等のお話にオリジナルの音楽を演奏入りで読み聞かせをする「絵本ライブ」の活動を 2009 年から続けている。これまで、約 500 作品余りに音を作り、所有する楽器は 100 種類越。主に子育て拠点・小学校・高齢者施設・地域センター等が活動。高齢者施設では、アコーディオン伴奏で歌声活動、合唱やハンドベルの地域指導。川崎市では 2023 年度より人形劇士と組み、様々な場所でワークショップを開催している。東京学芸大学作曲科・同大学院卒。



# Performer

---

## 【ウェルカムコンサート～リコーダーアンサンブル～】

Soprano

成沢 彩      福永 美穂

Alto

菊池 望叶      細島 奏帆      三好 咲彩

Tenor

小澤 美柚      小西 凜音      日比 咲千帆

Bass

高橋 瑛莉香      庄田 晴      服部 友希那

## 【能】

仕舞《敦盛 クセ》

田村 莉子

《放下僧 小歌》

豊田 彩友（ミュージカルコース）

《小鍛冶キリ》

持丸 なぎ

地頭：鶴澤 光(本学講師)

地謡：後藤 雪乃   鈴木 らく   中村 珠利杏

能《羽衣》

シテ：石川 晶水

ワキ：濱田 素実

ワキツレ：中村 心咲   森 愛華

後見：眞栄城 はるみ   後藤 雪乃   持丸 なぎ   豊田 彩友（ミュージカルコース）

地謡：鈴木 らく（地頭）中村 一音（副地頭）YANG CHUYUAN（副副地頭）（ミュージカルコース）

浅沼 俊哉   佐久間 天海   山崎 遥陽   矢澤 奏汰   大島 あかり   藤田 朱莉   腰岡 日和

山崎 碧紗（管楽器コース）   山田 汐音（管楽器コース）   犬伏 由奈（管楽器コース）

西川 瑚音花（現代邦楽コース）   別府 拓哉（音楽環境創造コース）   島岡 栞   奥野ひかり

三町 眞央（音楽・音響デザインコース）   三浦 ひかり   田村 莉子   田邊 碧   中村 珠利杏

伊藤 若菜（音楽・音響デザインコース）   郡司 夏祈（管楽器コース）

藤本 歩（打楽器コース）   小野 奈緒美   （ピアノコース）佐山 菊野（声楽コース）

囃子方：鈴木 麻里（森田流笛方能楽師）   大倉 伶士郎（大倉流小鼓方能楽師）

大倉 栄太郎（大倉流太鼓方能楽師）   林 雄一郎（観世流太鼓方能楽師）

特別指導：御厨 誠吾（下掛宝生流ワキ方能楽師）

---

## 【鍵盤ハーモニカ・アンサンブル】

Soprano

永田 陽 細島 奏帆 浅沼 俊哉

Alto I

松本 心晴 橋本 真和 秋谷 舞雪 成沢 彩 服部 友希那 藤田 朱莉

田邊 碧 山崎 遥陽 奥野 ひかり

Alto II

庄田 晴 濱田 素実 森 愛華 小澤 美柚 腰岡 日和 小西 凜音

福永 美穂 持丸 なぎ 日比咲 千帆

Alto III

佐久間 天海 島岡 栞 菊池 望叶 水上 唯 矢澤 奏汰

桑名 結生 谷元 友莉亜

Bass

中村 珠利杏 池田 知輝 中村 一音 中村 心咲 三好 咲彩

---

## 【器楽アンサンブル】

Piano 桑名 結生 谷元 友莉亜 /

Flute 松本 心晴 越野 梨花（管楽器コース）

Clarinet 秋谷 舞雪 成沢 彩 三好 咲彩 / Alto Saxophone 服部 友希那 藤田 朱莉

Soprano Keyboard Harmonica 永田 陽 浅沼 俊哉

Alto Keyboard Harmonica 庄田 晴 濱田 素実 森 愛華 小澤 美柚 腰岡 日和

小西 凜音 田邊 碧 山崎 遥陽 奥野 ひかり 福永 美穂 持丸 なぎ 日比 咲千帆

佐久間 天海 島岡 栞 桑名 結生 谷元 友莉亜 橋本 真和

Bass Keyboard Harmonica 中村 珠利杏 池田 知輝 中村 一音

Horn・Trumpet 細島 奏帆 / Euphonium 菊池 望叶

Trombone 水上 唯 / Bass Clarinet 矢澤 奏汰 / Baritone Saxophone 中村 心咲

Bass Guiter 永田陽 / Drums 庄田 晴

---

## 【ロビーコンサート ～2年生によるアンサンブル～】

音楽教育コース2年生

---

## 【合唱】

Soprano

後藤 雪乃 ZHU XIAOQI 橋本 真和 持丸 なぎ 岡本 茉音 永田 陽 濱田 素実

森 愛華 菊池 望叶 田邊 碧 日比 咲千帆 三浦 ひかり 三好 咲彩

奥野 ひかり 腰岡 日和

〔賛助出演〕阿部 希海 齊間 美羽 中田 梨花（以上、卒業生）

## Alto

秋谷 舞雪 桑名 結生 谷元 友莉亜 中村 珠利杏 水上 唯 横川 莉々花  
小澤 美柚 田村 莉子 中村 心咲 細島 奏帆 大島 あかり 島岡 栞  
〔賛助出演〕中村 汐里（卒業生）

## Tenor

佐久間 天海 山崎 遥陽  
〔賛助出演〕小谷野 友汰 田中 広輝 豊岡 穂高（以上、卒業生）

## Bass

池田 知輝 中村 一音 浅沼 俊哉  
〔賛助出演〕青木 優太 中澤 匠（以上、卒業生）

# Staff

### 〔音楽教育コース教員〕

伊志嶺 絵里子 鵜澤 光 柿崎 竹美 金井 公美子 木下 晶子 牛頭 真也 佐藤昌弘 高橋 明日香  
谷川 マユコ 林 更紗

### 〔アカデミック・コーディネーター(演奏会マネジメント)〕

小板橋 沙織

### 〔照明〕

株式会社クラフト

### 〔学生統括〕

濱田 素実

### 〔学生副統括〕

永田 陽 服部 友希那

### 〔合唱係〕

横川 莉々花 永田 陽

### 〔教育アンサンブル係〕

庄田 晴

### 〔能係〕

眞栄城 はるみ

### 〔リコーダーアンサンブル係〕

服部 友希那

### 〔学生ステージマネージャー〕

成沢 彩

**【照明係】**

森 愛華

**【会計係】**

福永 美穂

**【チラシ・プログラム作成】**

岡本 茉音

**【洗足学園音楽大学公認 SNS】**

X (旧 Twitter) ...@senzoku\_me

Instagram...@senzoku\_me

## アンケートのお願い

今後の演奏会企画・運営の参考とさせていただきたく、お手数をおかけしますが、  
アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd15-H26b3IsnCz28dd-yD1uG-GaZ1mw9gtNZQW\\_HJl1WSObw/viewform?usp=header](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd15-H26b3IsnCz28dd-yD1uG-GaZ1mw9gtNZQW_HJl1WSObw/viewform?usp=header)







洗足学園音楽大学